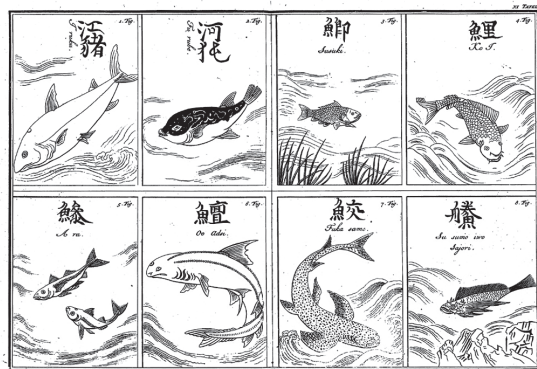


「日本帝国新地図」(ケンペル『日本史』所収)



ケンペル『日本史』の表紙(革装)



「魚類」(ケンペル『日本史』図版11)

表紙図版解説

エンゲルベルト・ケンペル『日本史』1729年刊所収

Engelbert Kaempfer. *De beschryving van Japan*.

's Gravenhage: P. Gosse en J. Neaulme; Amsterdam: Balthasar Lakeman, 1729.

ドイツ生まれの知識人ケンペルは、1683年にスウェーデンの使節団の一員としてロシアやペルシアへ渡った。その後、オランダ東インド会社に就職し、アジア各地の商館に赴任することになる。総督カンプハイスの計らいによって1690年に日本へ渡航したケンペルは、2年間の勤務の後にヨーロッパへ戻っているが、日本に滞在している間に、多くの日本の資料を収集し、それらを熱心に研究した。しかし、その研究成果は生前に刊行されず、イギリスのスローン卿が原稿を入手し、シヨイヒツァーに編集を依頼して、1727年に英語版が刊行されるに至り、その2年後にオランダでオランダ語版とフランス語版も出版された。本誌の表紙に掲載されている「日本帝国新地図」は、17世紀の日本製の地図を基に作成されたものである。また、日本の魚類の図版は、『訓蒙図彙』に掲載されている図版から転載されたもので、ローマ字読みが付されている。なお、両図版とも日文研所蔵のオランダ語版から選んだものである。同書は日文研貴重書データベースに収録されていて、オンラインで閲覧することができる。

(解説：フレデリック・クレインス)